

男性不妊の原因、8割以上は造精機能障害！！

男性不妊症の原因

	平成9年度	平成27年度
造精機能障害	83.0%	82.4%
原因不明	56.1%	51.0%
精索静脈瘤	35.9%	36.6%
その他	8.0%	12.4%
精路通過障害	13.7%	3.9%
性機能障害	3.3%	13.5%

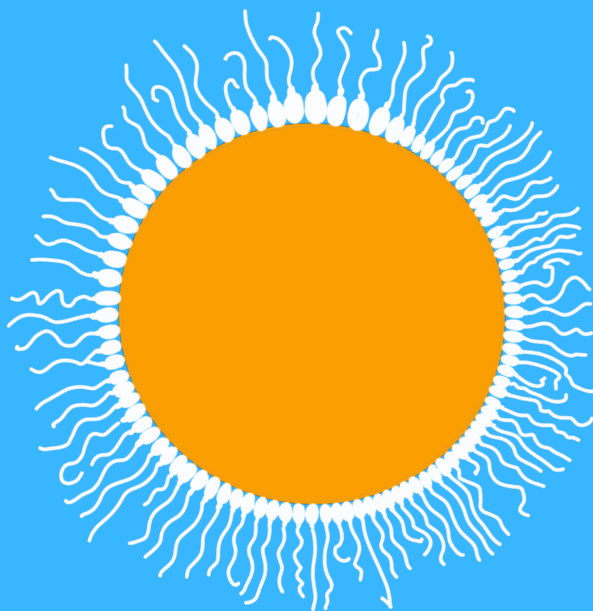
男性不妊症の原因は造精機能障害、精路通過障害、性機能障害があります。その中でも、造精機能障害は平成9年度と平成27年を見比べても**男性不妊の原因、第1位**です。

WHO精液所見基準値

WHO精液所見基準値2010

精液量	1.5ml以上
精子濃度	1,500万/ml以上
総精子数	3,900万以上
運動率	40%以上
正常形態率	4%以上（奇形率96%未満）
総運動精子数	1,560万以上

こちらは、WHOの精液所見基準値です。記載の数値は最低ラインを表しています。この基準を下回る精液所見は自然妊娠は不可能です。



くま鍼灸院

男性不妊 の 鍼灸治療

ご連絡はこちらから

くま鍼灸院

飯田市 三日市場 406-32

0265-32-1218

<http://kumashinq.jp>

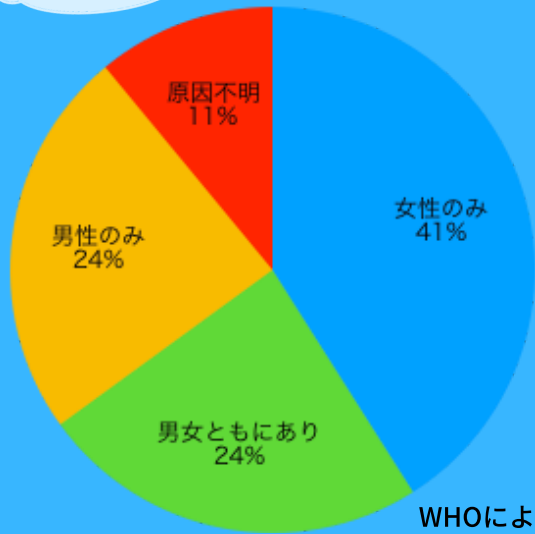


男性不妊の情報
鍼灸治療のご案内です

不妊症の原因は女性だけではありません！！

WHOのデータによれば、**不妊症の半分程は男性が影響している**とされています。

● 女性のみ ● 男女ともにあり ● 男性のみ ● 原因不明



WHOによる調査

男性のみ24%と男女ともにあり24%を合わせると男性が半分程度影響していることがうかがえます

男性不妊の場合、女性にも負担がかかる

男性が原因の不妊症の場合、女性に問題がない場合でも治療のステップを上げざるを得ません。

精液所見によりますが、病院での治療は体外受精からのスタートになります。

自然妊娠可能な男性の精液所見は？

	観察結果		調整後中央値 (95%CI)
	平均値 (SD)	中央値 (5~95)	
精子濃度 (百万/ml)			
試験総数	105 (83)	84 (18~275)	84 (76~92)
札幌	110 (84)	95 (22~244)	89 (76~104)
大阪	97 (79)	76 (15~253)	80 (70~93)
金沢	105 (76)	84 (17~259)	80 (70~92)
福岡	115 (102)	89 (21~263)	98 (80~120)
精子運動性 (%)			
試験総数	67 (21)	66 (31~100)	77 (74~79)
札幌	62 (18)	65 (28~87)	66 (61~70)
大阪	85 (19)	92 (46~100)	94 (93~95)
金沢	55 (15)	56 (30~77)	60 (48~56)
福岡	60 (14)	60 (34~82)	69 (62~74)

自然妊娠可能な男性の精液所見は、ズバリ！
精子濃度 (中央値) : 8400万
精子運動率 (中央値) : 66%

WHO精液所見基準値と大きく違うことがわかります。

病院で精液所見が悪く、その原因がはっきりと分かる状態ですと症状に対する治療が行なえます。

しかし、男性不妊症の8割が造精機能障害で、そのうち半数が原因不明の状態です。

西洋医学では対応できない男性不妊患者さんがいかに多いかが、データをご覧になると理解いただけるかと思えます。

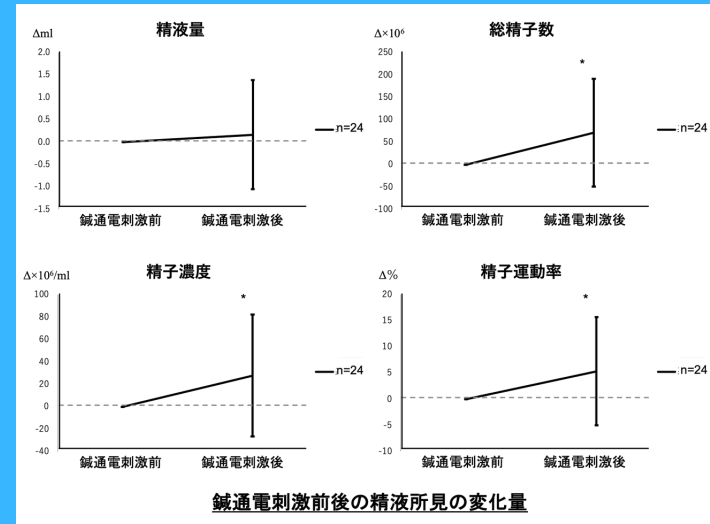
当院のパンフレットをご覧の皆さん！精液所見は回復しないと諦めていませんか？

最新の臨床研究で鍼灸治療が精液所見を改善することがわかってきました！

男性不妊の鍼灸治療

SR鍼灸烏丸院長の伊佐治景悠先生の臨床研究で、日本アンドロロジー学会で発表された鼠径部への鍼通電刺激が造精機能に及ぼす影響~精漿成分と精巣血流を指標とした検討~により鍼灸治療を行うと精液所見が改善することが明らかになりました。

鍼灸による治療効果は、陰茎海綿体への内圧増加(勃起)、骨盤内循環改善(造精)、精巣血流量増加(造精)、精液液状化(精子運動率)のしやすさなどが挙げられます。



精子が作られるまでには約74日かかると言われています。また、精子は熱やストレス、薬剤、放射線などからダメージを受けやすい特徴があります。

日々の生活で精子へのリスクを避けながら、鍼灸治療で性機能、造精機能を改善することで妊娠率の改善を目指していきたいと考えております。治療間隔はおおよそ1週間から10日に1回程度の頻度で治療を継続し、採精日の前日に治療を組み込んで運動率の上昇を目指します。